

プレスリリース

「平成24年度対ハイチ食糧援助」引渡し式

平成25年10月4日

2013年10月2日、ポルトープランス市内の開発援助貨幣化事務所において、平成24年度対ハイチ食料援助（KR）によって供与された米の引渡し式が行われました。

倉富健治大使、増本浩光国際協力機構企画調査員、ミカエル・ルコー開発援助貨幣化事務所長、アリクス・ニコラ開発援助貨幣化事務所次長、ジャン・ラルフ・カズ開発援助貨幣化事務所販売部長、ピエール・エティエンヌ経済・財務省事務次官らが出席し、ハイチ側から感謝の意が示されました。

5.4億円（約568百万米ドル）にのぼる今回の支援は、ハイチにおける慢性的な食糧不足を緩和し、生活の改善を図ることを目的としています。今回の食糧援助は、マルテリー・ハイチ大統領の訪日の際、2012年12月7日に二国間で署名を行った交換公文（E/N）に基づくものです。

今回ハイチに贈与された米は、2013年8月12日にポルトープランス港に到着しました。総量は9215トンにのぼり、袋数にして31万袋ほどになります（一袋30キロ）。

食糧安全保障分野における日本の対ハイチ支援は、食糧援助と貧困農民支援の2大プログラムから成ります。日本は短期的な食糧援助と中長期的な農業強化の両面から支援を行っています。